

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	野呂山公園施設		
所在地	呉市川尻町板休		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	オートキャンプ場、公衆便所、休憩所、展望台、歩道、車道、駐車場施設等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)野呂山観光開発公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用状況	4期	R2	5,000人	5,169人
R1			5,000人	6,654人	1,299人 1,654人(133.1%)
3期平均(H26～H30)		5,424人	5,355人	340人 △69人(98.7%)	
2期平均(H21～H25)		4,110人	5,015人	1,863人 905人(122.0%)	
1期平均(H18～H20)		—	3,152人	528人 —	
増減理由	H17(導入前)	—	2,624人	—	—
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月、5月を休業したことや、新型コロナウイルス感染防止対策として、キャンプサイトの間隔を空けた利用としているため、前年度より利用者が減少したものの、キャンプ需要の高まりもあって、年度を通じて目標を達成した。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	キャンプ場利用者 58組
	【主な意見】	【その対応状況】
	必要に応じてテント設営や火起こしを職員が手伝い、好評だった。	引き続き利用者からの問合せ等に対し適切に対応する。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報	—	
運営協議会(6月・現地)	【特記事項等】 施設の維持修繕について 【指定管理者の意見】 木製の電源ボックスが老朽化しており、修繕を要望する。		
現地調査(3月)	【県の対応】 全21機のうち、8機を修繕し、令和3年度も引き続き修繕を実施する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R2	4,936		76	料金収入 (決算額)	4期	R2
R1			4,860	799	R1	4,956			1,660
3期平均(H26~H30)		4,061	113	3期平均(H26~H30)		3,296		532	
2期平均(H21~H25)		3,948	0	2期平均(H21~H25)		2,764		1,310	
1期平均(H18~H20)		3,948	△364	1期平均(H18~H20)		1,454		103	
H17(導入前)		4,312	—	H17(導入前)		1,351		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	4,936	4,860	76	
		料金収入(※1)	4,482	4,956	△474	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減
		その他収入	28	34	△6	
		計(A)	9,446	9,850	△404	
	支出	人件費	4,308	5,695	△1,387	利用者減に伴う人員配置の見直し
		光熱水費	1,389	1,539	△150	利用者減に伴う電気代の減
		設備等保守点検費	982	612	370	し尿汲み取り回数増による増
		清掃・警備費等	342	336	6	
		施設維持修繕費	860	690	170	寒波に伴う水道施設の修繕による増
		事務局費	88	207	△119	広報誌の減
		その他	803	811	△8	
	計(B)	8,772	9,890	△1,118		
	収支①(A-B)		674	△40	714	
	自主事業(※2)	収入(C)	—		—	
支出(D)		—		—		
収支②(C-D)		—		—		
合計収支(①+②)		674	△40	714		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	多目的広場等の無料開放のほか, 各種イベント(レンタサイクル, 野外料理教室等)を継続実施した。	自然公園の利用増進を図るためのイベントを企画・実施している。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染防止対策として, 利用者が密になることを防ぐために, キャンプサイトの間隔を空けた利用とした。	利用者が安心して利用できるように, 率先して新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	ファミリー層向けのプランのチラシを作成し, 呉市内の小学校に配布するなど, ファミリー層の利用促進やリピーターの獲得につなげた。	これまでの利用形態を分析するなどし, オートキャンプ場利用の増加につながる取組を実施している。
	○施設の維持管理	施設の清掃管理を徹底したほか, 修繕について県と連携して実施した。	清掃, 草刈りを適切に実施し, 快適な利用環境の提供に努めるとともに, 修繕についても県と連携して行っている。
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	キャンプブームにより問合せ等が増えており, 繁忙期等はロッジ職員と連携して事務を行った。	周辺施設(野呂高原ロッジ)と連携した施設の管理運営を行い, 業務の効率化と経費縮減に努めている。
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正	利用者減に伴い人員配置の見直しを行うなど, 経費の縮減に努めた。	利用者増及び効率的な執行体制の確保による, 更なる収支の適正化に取り組む必要がある。
総括		休業やキャンプサイトの間隔を空けた利用としたことで, 前年度より利用者減及び収入減となったものの, キャンプ需要の高まりもあって, 目標の利用者数を達成するとともに, 黒字を確保した。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら利用促進を図っている。周辺施設と連携したイベントや取組により, 更なる利用者増や収入増に努める必要がある。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら, 利用促進につながる企画や取組内容の見直しを行い, 施設の利用促進に努める。	引き続き必要な新型コロナウイルス感染防止対策の実施を支援するとともに, 周辺施設と連携した新たな企画などの実施に際し, 積極的に広報などの支援を行う。
中期的な対応	施設の修繕等や利用者の増加策の企画について, 県と協議を行いながら実施する。	施設の修繕については, 指定管理者の意見等を踏まえ, 緊急性の高いものから対応していくとともに, 利用者の増加策についても指定管理者と協議を進め, 必要な支援を行う。